

武雄の大砲を見に行こう!!

国重要文化財 武雄鍋島家洋学関係資料大公開

★印は国重要文化財です。

平成27年

8月8日[土] ↓ 9月6日[日]

午前9時 ↓ 午後9時まで **会期中無休**

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022

佐賀県武雄市武雄町大字武雄五三〇四一
TEL 0954-28-9105

● **展示解説** 13時30分
8月8日[土]・8月9日[日]
8月14日[金]・8月15日[土]
8月23日[日]・8月29日[土]
9月6日[日]

● **主催**

武雄市図書館・歴史資料館

● **後援**

佐賀新聞社・西日本新聞社

朝日新聞社・読売新聞西部本社

毎日新聞社

株式会社ケーブルワン

NHK佐賀放送局

STSサガテレビ・NBCラジオ佐賀

★モルチール砲

★オランダ陸軍の服装と武装

★砲弾

★ナポレオン式四斤野砲

高島秋帆像(原資料 松月院)

武雄の大砲プロジェクト **始動**

入場無料

IN HET JAAR 1835.
(HOLLANDSCH)
EERST GEGOTEN TE JAPAN.



見に行こう!!

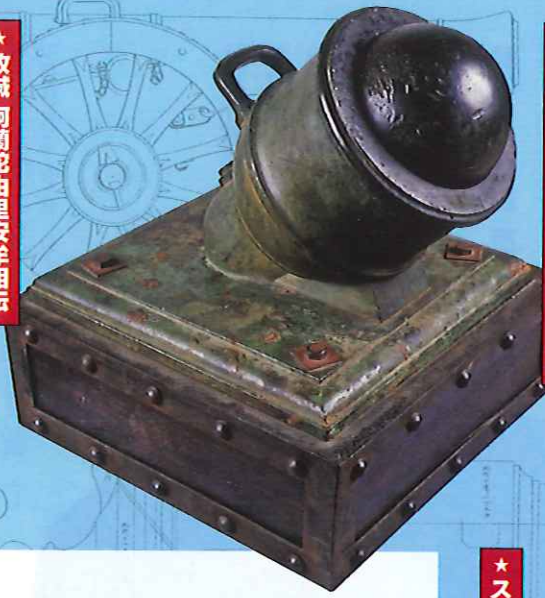
武雄の大砲を

★船戦百條

★破本一括

★攻城 阿蘭陀由里安牟相伝

★モルチール砲(試薬モルチール)



★スコットランド製火薬缶



佐 賀藩の洋学研究は、武雄の西洋砲術研究から展開しました。武雄領主鍋島茂義は、天保3(1832)年、当時、西洋砲術の第一人者であった長崎の高島秋帆のもとに家臣の平山山平(醇左衛門)を入門させます。さらに2年後には茂義自身も入門して砲術と大砲鑄造の基本原則などを学び、同7年には高島流砲術の免許皆伝を得ました。天保8(1837)年9月16日、武雄領内真手野での砲術訓練では、「旦那様(茂義のこと)、ボンベン、御自身御詰め込み遊ばされ候末、右玉、御試し打ちあそばされ候」と、自ら試し打ちを行うほどに習熟を遂げていたことも確認できます。

こうした武雄での砲術研究と西洋式訓練は、天保11(1840)年、佐賀城の北東、神埼郡岩田の台場で、佐賀藩主鍋島直正の立ち会いのもと行われた演習でその成果が認められ、以後、佐賀藩の一大プロジェクトとして新たな発展を見ました。

今回、武雄市図書館・歴史資料館では、武雄から始まる西洋砲術の取り組みと蘭学の導入、それが佐賀藩や幕末の日本、その後の日本の近代化に果たした役割を学ぶ特別展を開催します。

★印は国重要文化財です。＊背景は★大砲設計図

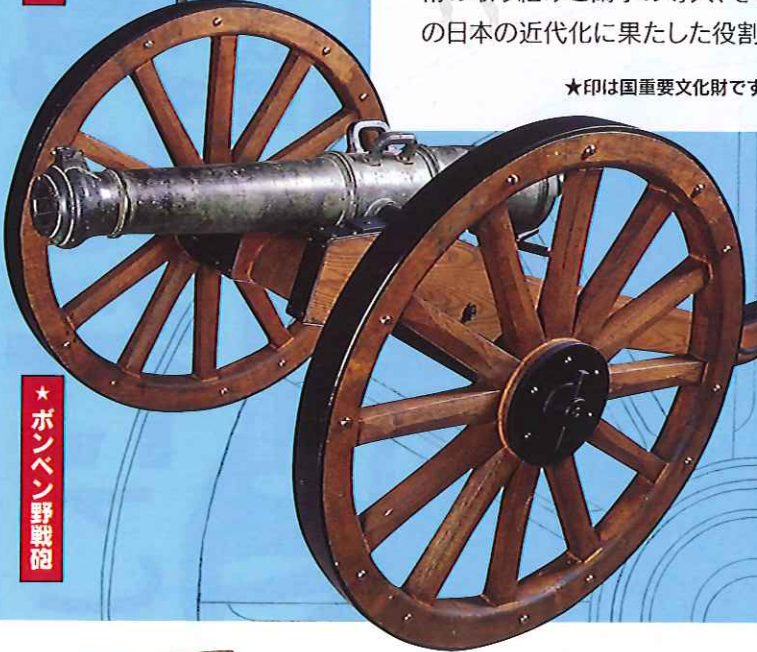
★オランダ陸軍の「服装と武装」



★照準器



★ボンベン野戦砲



訓練大隊之図



★シャープス弾丸カートリッジ

武雄市図書館 歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>
E-mail | epochal@city.takeo.lg.jp

